

UPA(ユーパーエー)国際協カプロジェクト



✎ UPAとは、「United Peoples Alliance」の略。直訳するならば「人々の連合」となります。国と国の利害に左右されない、人と人とのつながりという意味。地球一周の船旅で目の当たりにする、難民、ストリートチルドレン、紛争、貧

困、飢餓…。現地の人々と交流し、関係を持つ中で生まれた「すこしでも現状を変えたい」という思いから、世界各地へ「支援物資」を送る活動を行っています。今回もいくつかの寄港地で、文房具やスポーツ用品などを直接現地の方へ届けます。

福島大学ユースプロジェクト



✎ 「福島と世界をつなぐ」をテーマとして、福島大学の学生が船旅に参加し、船内や寄港地で原発事故後の福島の現状に関して意見交換を行うプロジェクトです。今回は、福島大学行政政策学類の学生7名が参加をします。福島大学災

害復興研究所と共同で行われるこのプロジェクトには、2012年夏の船旅に同大学生2名が参加し、ベトナムの枯葉剤被害者らとの交流や、エジプトで国際平和組織マスターピース(MasterPeace)との証言会などを実施しました。



プロジェクト紹介

第80回ピースボート地球一周の船旅

石巻ユースアンバサダー(青年大使)



✎ 震災から3年目を迎え、各地で一歩いっぽ復興への取り組みがなされています。一方で、被災地の外では時間の経過と共に記憶が風化してるのも事実です。400年前に石巻を出帆した慶長遣欧使節船と同じ航路の今回のクルーズ。そ

こで、船内や世界各地に東日本大震災の経験や教訓を伝え、語り継いでいくために、石巻の若者をアンバサダー(青年大使)として公募いたしました。震災の経験と共に、石巻の現状を伝える、熱意ある若者が2名乗船します。

LINKS(リンクス)プロジェクト



✎ 「Link=つながる・つなげる」というプロジェクトは、石巻に寄港が決まった今年2月頃から始動しました。今なお多くの人手と知恵を必要としている石巻の漁村地域にて、今クルーズに参加する多くのボランティアが泊まり込みで

地元の漁師さんのお手伝いを行いました。それらの経験や被災地の現実を、自身の家族や友人はもとより船内や世界中の寄港地でも伝えます。クルーズの最後には、世界中で集めた応援メッセージと共に石巻港へ入港します。

おりづるプロジェクト 『ヒバクシャ地球一周 証言の航海』



ピースボートは被爆国・日本を本拠とする国際NGOとして、核兵器の非人道性を世界に訴え、核廃絶に貢献することが世界的な使命であると考えています。2008年から始まった「おりづるプロジェクト」では、広島・長崎の被爆者が

140名以上参加し、世界各地で原爆被害の証言をし核廃絶のメッセージを伝える活動を行っています。今回のクルーズでは、9名の被爆者が参加し、船内や寄港地で活動します。また、「おりづるユース特使」の若者1名も参加します。

地球大学



ピースボート地球大学とは、「地球一周の船旅」というユニークな学びの場を活かし、将来NGO・NPOや国際機関、地域活動などの領域で活躍する「アクティビスト(実践家)」の育成を目的としたプログラムです。特定のテーマに沿って学

び、毎日の洋上ゼミや現場での直接体験を通し、世界各国や地域の問題を自分の問題として考える視点を養います。今回のクルーズでは約30名の受講生が、「世界に学べ!脱原発とこれからのエネルギー」をテーマに地球一周を通して学びます。

洋上留学



ピースボート30周年を記念して生まれたプログラムで、世界の国々を巡りながらの「海外留学」を行います。洋上の時間を有効に使った少人数制の集中英会話トレーニングや資格取得講座も受講。また、大西洋区間ではジャマイカや

キューバに滞在し、語学研修やボランティア体験を通してホントに使える英語やスペイン語を学びます。多くの若者が一生に一度はやってみたいと言う「海外留学」と「世界一周」を同時に行うプログラムです。

グローバルスクール



グローバルスクールは、「ヒト多様性」を体験しながら学ぶ新しいカタチの洋上フリースクールです。現在、多くの若者たちが日本社会への息苦しさを感じています。例えば、不登校や引きこもり、将来に対する不安、職場や社会環境に

馴染めないなどその理由はさまざまです。「ヒトと同じ」であることが求められる日本社会から、「ヒトは違って当たり前」の地球社会へ飛び出します。今回も約15名の受講生が、さまざまな文化や考え方の違いに触れ多様性を養います。

ベネズエラ青少年オーケストラ・システム 『エル・システマ』



1975年の南米ベネズエラにて、主に貧困層の子どもたちが演奏を学べるようにと無料の音楽教室が11名で始動しました。通称「エル・システマ」と呼ばれる活動は、その後40年余りが経ち、世界的な注目を集めるとともに国内で

は約35万人のメンバーが参加するオーケストラへと成長しています。今回は、そんなエル・システマから7名のメンバーが、横浜～ポートサイドまで乗船し、船内や寄港地で素晴らしい演奏を披露してくれます。

地球をキャンパスに学ぶ英会話 『GET(ゲット)』



GET(グローバル・イングリッシュ/エスパニョール・トレーニング)は、地球上の人々と思いを伝える時に必要な「コミュニケーションツール」としての言語を身につける語学プログラムです。3ヶ月の洋上集中レッスンでは、「学ぶ、使

う」の繰り返しを通して英語やスペイン語を学びます。レッスンで学んだことは船内や寄港地で毎日実践。使うことで自信を培い、語学力をアップしていく、GETならではの体験型トレーニングプログラムです。

洋上のモンテッソーリ保育園 『ピースボート子どもの家』



異文化体験とモンテッソーリ教育を通してピースボートが始めた、平和運動としての洋上保育園。これまで5年間で、60人以上の子どもたちとその保護者が参加しています。差別心や固定概念がまだない幼い子どもたちが、早い時

期から本物の世界に出会うことは、その後の人生において豊かで広い感受性の裾野を形成することにつながります。「親子で成長できた」「大らかに子育てできるようになった」そんな嬉しい声を励みに、親子の地球一周を応援するプログラムです。

ピースボート地雷廃絶キャンペーン 『P-MAC(ピー・マック)』



ピースボート地雷廃絶キャンペーン(Peace Boat Mine Abolition Campaign)の略称がP-MACです。カンボジアやアフガニスタンなど、地雷埋設国で地雷除去を行っている政府機関やNGOの支援を行うプロジェクトです。P-MACは1998年の発足以

来、「地雷をなくそう100円キャンペーン」や「なんだろう地雷出前教室」を中心とする、さまざまなキャンペーンを展開して、地雷やクラスター爆弾を廃絶するための活動を行っています。